

多摩哲学会 全大会記録

第1回大会（2004年7月4日、中央大学駿河台記念館580号室）

- ・金澤 修（東京学芸大学）
プロティノスにおける「不文の教説」解釈の位置について
—数の成立の場面を巡っての試論
- ・柳澤 田実（東京大学）
〈愛〉と〈語り〉—教父ニュッサのグレゴリオスを中心に
- ・土橋 茂樹（中央大学）
倫理と信仰の闘
—キルケゴール『恐れとおののき』を解釈するための東方教父学的序説
- ・村井 則夫（明星大学）
無限性と有限性のあいだで
—ブルーメンベルクのクザーヌス、ブルーノ解釈をめぐって

第2回大会（2004年11月28日、中央大学後楽園キャンパス新3号館14階会議室）

- ・斎藤 元紀（法政大学）
弁論術と解釈学
—ハイデガーのアリストテレス『弁論術』解釈の射程と制約
- ・高橋 英海（中央大学）
思想史におけるシリア語文献の意義
—バルヘブラエウスにおける世界の永遠性の論議を例に
- ・矢野 善郎（中央大学）
マックス・ヴェーバーの方法論的合理主義

第3回大会（2005年10月2日、中央大学後楽園キャンパス新3号館14階会議室）

- ・山本 芳久（千葉大学）
ヤフヤー・イブン・アディー『性格の陶冶』における倫理的生活の構造
- ・山口 一郎（東洋大学）
超越論的事実性と時間化
- ・中井 章子（青山学院大学）
Friedrich Christoph Oetinger（1702-1782）とロマン主義

第4回大会（2006年9月24日、中央大学駿河台記念館570号室）

- ・入江容子（一橋大学大学院）
「歴史の終焉」以後の「性的差異」の問題—コジェーブとサガンをめぐって—

・江川隆男（首都大学東京）

原因と欲望—実在的区別の技芸の観点から—

・松浦明宏（東北大学）

プラトンの対話篇に書かれた秘教—「あらぬもの」のエイドス—

第5回大会（2007年9月16日、中央大学駿河台記念館560号室）

・小島和男（学習院大学）

プラトン『パイドン』における自殺禁止論の射程

・今村純子（慶應義塾大学）

芸術と倫理—シモーヌ・ヴェイユの思索をめぐって—

・西山雄二（東京大学）

哲学と大学をめぐるジャック・デリダの理論と実践

第6回大会（2008年12月7日、中央大学駿河台記念館310号室）

・丹木博一（聖母大学）

世界現象の否定性について—「世界が世界する」という言葉でハイデガーが語ろうとしたこと—

・荻原 理（東北大学）

死に対するエピクロスの態度

・清水正之（聖学院大学）

人文知の可能性—日本の思想史から

第7回大会（2012年3月23日、専修大学・神田キャンパス）

・小林 剛（中央大学）

アルベルトゥス・マグヌスの感覚・知性論

・村岡晋一（中央大学）

フランツ・ローゼンツヴァイクの言語論

・酒井 潔（学習院大学）

ライプニッツの正義論